

3 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 最終需要財

平成 15 年の県内最終需要財の生産指数は91.2 で、対前年比7.0%低下しました。（表4）

また、在庫指数は104.4 で、対前年比24.0%上昇しました。（表6）

1-1 投資財

平成 15 年の県内投資財の生産指数は91.1 で対前年比1.0%低下しました。（表4）

また、在庫指数は101.3 で対前年比28.1%上昇しました。（表6）

1-1-1 資本財

平成 15 年の県内資本財の生産指数は92.0 で、対前年比8.1%低下しました。（表4）

四半期別にみますと、1 期は95.3(対前期比8.9%減)、2 期は96.9(同1.7%増)、3 期は89.7(同7.4%減)、4 期は85.5(同4.7%減)となります。（表8）

また、在庫指数の年平均は121.5 で、対前年比64.6%上昇しました。（表6）

四半期別にみますと、1 期は89.5(対前期比39.4%増)、2 期は129.6(同44.8%増)、3 期は138.9(同7.2%増)、4 期は131.3(同5.5%減)となります。（表10）

1-1-2 建設財

平成 15 年の県内建設財の生産指数は90.1 で、対前年比8.6%上昇しました。（表4）

四半期別にみますと、1 期は87.2(対前期比1.8%増)、2 期は89.3(同2.4%増)、3 期は93.8(同5.0%増)、4 期は91.2(同2.8%減)となります。（表8）

また、在庫指数の年平均は80.7 で、対前年比4.5%低下しました。（表6）

四半期別にみますと、1 期は81.8(対前期比4.5%増)、2 期は82.7(同1.1%増)、3 期は79.6(同3.7%減)、4 期は78.8(同1.0%減)となります。（表10）

1-2 消費財

平成 15 年の県内消費財の生産指数は91.3 で、対前年比13.5%低下しました。（表4）

また、在庫指数は108.0 で、対前年比19.9%上昇しました。（表6）

1-2-1 耐久消費財

平成 15 年の県内耐久消費財の生産指数は89.0 で、対前年比21.1%低下しました。（表4）

四半期別にみますと、1 期は100.5(対前期比8.6%減)、2 期は84.6(同15.8%減)、3 期は82.2(同2.8%減)、4 期は89.8(同9.2%増)となります。（表8）

また、在庫指数の年平均は113.1 で、対前年比25.9%上昇しました。（表6）

四半期別にみますと、1 期は104.3(対前期比10.4%増)、2 期は107.4(同3.0%増)、3 期は112.4(同4.7%増)、4 期は119.7(同6.5%増)となります。（表10）

1-2-2 非耐久消費財

平成 15 年の県内非耐久消費財の生産指数は 94.8 で、対前年比 0.5% 上昇しました。(表 4)

四半期別に見ますと、1 期は 92.8 (対前期比 0.3% 減)、2 期は 90.8 (同 2.2% 減)、3 期は 96.1 (同 5.8% 増)、4 期は 98.9 (同 2.9% 増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 94.4 で、対前年比 4.2% 上昇しました。(表 6)

四半期別に見ますと、1 期は 96.9 (対前期比 15.9% 増)、2 期は 94.9 (同 2.1% 減)、3 期は 92.6 (同 2.4% 減)、4 期は 93.3 (同 0.8% 増) となります。(表 10)

2 生産財

平成 15 年の県内生産財の生産指数は 117.8 で、対前年比 16.5% 上昇しました。(表 4)

また、在庫指数は 191.9 で、対前年比 8.4% 低下しました。(表 6)

2-1 鉱工業用生産財

平成 15 年の県内鉱工業用生産財の生産指数は 118.3 で、対前年比 16.7% 上昇しました。(表 4)

四半期別に見ますと、1 期は 111.0 (対前期比 5.6% 増)、2 期は 112.8 (同 1.6% 増)、3 期は 118.9 (同 5.4% 増)、4 期は 129.8 (同 9.2% 増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 195.2 で、対前年比 8.6% 低下しました。(表 6)

四半期別に見ますと、1 期は 197.5 (対前期比 6.2% 減)、2 期は 229.0 (同 15.9% 増)、3 期は 213.5 (同 6.8% 減)、4 期は 136.7 (同 36.0% 減) となります。(表 10)

2-2 その他用生産財

平成 15 年の県内その他用生産財の生産指数は 90.4 で、対前年比 1.8% 上昇しました。(表 4)

四半期別に見ますと、1 期は 92.9 (対前期比 7.5% 増)、2 期は 93.3 (同 0.4% 増)、3 期は 85.9 (同 7.9% 減)、4 期は 89.7 (同 4.4% 増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 98.4 で、対前年比 0.5% 上昇しました。(表 6)

四半期別に見ますと、1 期は 97.0 (対前期比 5.7% 増)、2 期は 107.0 (同 10.3% 増)、3 期は 95.0 (同 11.2% 減)、4 期は 94.8 (同 0.2% 減) となります。(表 10)



「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある12月、1月、ゴールデンウィークのある4、5月、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行う場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。